

令和元年6月20日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16H03769

研究課題名(和文) 学校改革研究の海外発信による「学びの共同体」アジア・ネットワークの展開

研究課題名(英文) Asian Network for Wiring School Reform Study for School as Learning Community

研究代表者

佐藤 学 (Sato, Manabu)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：70135424

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,110,000円

研究成果の概要(和文)：申請者の提唱する「学びの共同体」のビジョンと哲学による学校改革と授業改革のアジア・ネットワークの構築とその国際研究を推進した。中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、インドネシア、ベトナム、タイが主要な国と地域であり、これらの地域の大学および教育行政機関と連携して、研究調査活動と研究交流を実施した。平成28年度においては、中国の北京師範大学において国際会議を開催し、平成29年度においては、韓国の慶尚南道の教師研修センターにおいて国際会議を開催し、平成30年度においては、中国の福建師範大学において国際会議を開催した。各国際会議においては、10か国以上、500名から800名の研究者が参加した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の「学びの共同体」の学校改革と授業改革は、日本の教育学と教育実践の海外発信として最も影響力の大きいものの一つであり、本研究においても、中国、韓国、台湾、インドネシア、ベトナム、タイにおいて、21世紀型の学校と授業をめざす改革として最大の影響力を及ぼしてきた。本研究において実施された3つの国際会議は、10か国以上の国々における研究と実践の国際交流の場となり、改革の普及と質の向上に寄与した。

研究成果の概要(英文)： School as Learning Community, SLC, which I proposed and practiced, has been one of the most powerful educational theory and strategy to reform the schools in such Asian countries, Japan, China, Korea, Taiwan, Singapore, Vietnam, Indonesia and Thai in pursuit of the "21 century style" of school education. This research project arranged 3 international research conferences at Beijing Normal University in 2016, Korean Institute of SLC in 2017 and Fuzhou Normal University in 2018. The conferences successfully provided ample opportunities for educational researchers from 10 and more nations to share and promote enhanced knowledge and experience.

研究分野：教育学

キーワード：学校改革 授業改革 教職専門性の開発 学びの共同体

1. 研究開始当初の背景

東アジアの国々は、長らく日本の近代化をモデルとする学校教育の様式を採用してきたが、グローバル化の進展によって、その有効性に破綻が生じ、過度の受験競争による社会移動や中央集権的な統制から脱却し、知識基盤社会に対応した質と平等の同時追求を掲げて、分権改革による学校教育のイノベーションを推進している。この新たな時代に対応して、本研究プロジェクトの申請者が発案した「学びの共同体」を標榜する学校改革と授業研究は、日本のみならず、中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、インドネシア、ベトナム、タイなどの国々において学校改革の最大の推進力になっている。

2. 研究の目的

申請者が発案し実践してきた「学びの共同体」を標榜する学校改革は、(1)「21世紀型の学校」を追求する学校改革であり、(2)新自由主義の教育改革に対抗した新しい社会民主主義を模索する教育改革である。そのヴィジョンと哲学と活動システムの概要は以下のとおりである。

(1)「21世紀型の学校」として「学びの共同体」を標榜する学校改革は、知識基盤社会、多文化共生社会、格差リスク社会、成熟した市民社会への対応として、学校教育の「質と平等の同時追求」を掲げ、プログラム型カリキュラムからプロジェクト型カリキュラムへの転換（思考探究中心カリキュラムの創造）一斉授業から協同的学びへの転換、「教える専門家」から「学びの専門家」への教師像の転換を提唱している。

(2) 学校の公共的使命である一人残らず子どもの学ぶ権利を実現し、すべての教師の教育専門家として成長を保障し、さらに大多数の親と市民の学校への信頼を形成するために、「学びの共同体」を標榜する学校改革は (a) 公共性の哲学、(b) 民主主義の哲学、(c) 卓越性の哲学を三つの哲学的基礎として、教室における対話的コミュニケーション（聴き合う関係）による協同的学びの創造、教師間の授業研究による同僚性（collegiality）の構築、学校改革と授業改革への親の参加（学習参加）を改革の方略として提示している。

「学びの共同体」の学校改革は、日本の教育学と教育実践の海外発信によって成立した国際的な学校改革であり、これほどの学校改革のグローバルな普及と展開は国際的にも前例を見ない稀有の現象と言ってよい。しかも、この草の根の学校改革運動が各国の学校改革の公共政策に直接的な影響を及ぼし、各国の主導的な教育学者たちによって担われているのも特徴的である。

本研究の前段階として申請者は、科学研究費基盤研究（B）学校改革研究のアジア・ネットワークの構築 - 『学びの共同体』の海外発信と国際連携 - （平成25年度 - 平成27年度）を実施し、それまで申請者と各国の教育研究者と放射線状に結ばれていた協同関係を相互交流による国際ネットワークとして構築する活動を推進してきた。

その延長線上に位置する本研究プロジェクトにおいては、一人残らず子どもの学習権を保障する学校改革の研究、探究中心の協同的学びを創出する授業研究の開発、教師の同僚性（collegiality）を基盤とする専門家共同体の学び（professional learning community）の研究、学校の民主化と自律性の確立を促進する教育政策研究を主要な研究課題とする国際研究ネットワークの展開を研究目的としている。本研究は、学校改革の比較研究としても国際的共同研究としても独創的であり、その研究成果は、アジア諸国の教育省、教育委員会の学校政策と教育実践に直接的な影響を与え、学校改革の授業のイノベーションに貢献してきた。また本研究は、学校改革に携わっているアジア諸国の教育学者と教師と教育行政関係者の国

際的な交流と協同を促進する基盤として貢献が期待できる。さらに、将来のアジア諸国の友好的で創造的な教育研究の発展を展望して、本研究は、学校改革研究の領域における若手教育研究者の育成と国際交流を促進する役割も担った。

3. 研究の方法

本研究は、アクションリサーチとフィールドワーク、および海外の教育研究者との協同研究によって推進し、国際的な研究交流を集約する国際会議を開催することによって推進した。本研究は、以下の海外の教育研究者の密接な連携によって遂行された。いずれの教育研究者も各国において「学びの共同体」を標榜する学校改革の研究と実践を推進している主導的な教育研究者である。

中華人民共和国：朱小曼（北京師範大学教授、元中央教育科学研究所長）陳向明（北京大学教授）朱旭東（北京師範大学教授）鐘啓泉（華東師範大学教授）朱永新（蘇州大学教授、中国新教育研究会会長、中国教育学会副会長）沈曉敏（華東師範大学准教授）

韓国：ソン・ウジョン（韓国学びの共同体研究所所長、元釜山大学教授、元政策秘書官）

台湾：歐用生（台湾首府大学教授、元台北教育大学学長）陳麗華（淡江大学教育学院長、元台北市師範大学教育学院長）揚思偉（台中師範大学前学長）陳佩英（台湾師範大学准教授）

シンガポール：Christine Lee（シンガポール国立教育研究所准教授、世界授業研究学会会長）Eisuke Saito（シンガポール国立教育研究所専任講師）

香港：Ko Po Yuk（香港教育学院准教授）Kelly Kennedy（香港大学教授）

インドネシア：Hendayana Sumar（インドネシア教育大学教授）

ベトナム：Thi-Diem-Hang Khong（ベトナム教育革新研究所研究員）

タイ：Siripaarn Suwanmonkha（チュラロンコン大学教授）

さらに、本研究プロジェクトは、以下の若手研究者たちを協力者に迎え入れ、学校改革研究の若手育成と国際交流を促進することを企図した。すでに、インドネシアの「学びの共同体」の学校改革については草薨佳奈子（ロンドン大学大学院博士課程）中華人民共和国の「学びの共同体」の学校改革については于莉莉（北京師範大学専任講師）、韓国の「学びの共同体」の学校改革については申智媛（平成帝京大学准教授）などが国内外の学術誌に論文を執筆し、博士学位の取得するか、もしくは論文の完成へと接近した。そのほか、各国の博士課程の大学院生が「学びの共同体」の学校改革に関する旺盛な研究活動を推進しており、本研究プロジェクトは、これら国内外の有望な若手研究者たちの研究を支援し、相互の国際連携ネットワークを形成することを達成すべき成果であった。

4. 研究成果

(1) 平成28年度の活動と成果

アメリカ教育学会（AERA）の年次大会および世界教育学会（WEERA）のフォーカル・ミーティングにおいて、アメリカ、メキシコ、マレーシア、イラン、マレーシア、エチオピアなど、本研究プロジェクトの対象外の地域で開催している「学びの共同体」の学校改革と授業改革の国際会議を開催した。2013年に開設したホームページ「International Platform for School as Learning Community」の根本的な更新を行った。このホームページは本研究プロジェクトの研究と実践の相互交流の要であり、これまで各国の研究データベースと実践データベースを作成してきたが、最新データにもとづいてそれらの全面的な更新を行った。台湾を訪問し各地のパイロット・ス

クールを調査し、台南市を中心にワークショップを開催した。韓国で開催された韓国学びの共同体研究会の年次大会において韓国内のパイロット・スクールの連携をはかり、併せて改革状況の実態調査を行った。北京師範大学において「第4回学びの共同体国際会議」（10か国、800名参加）を開催した。イギリスで開催された世界授業研究学会（WALS）において本研究プロジェクトの研究成果を発表した。台湾教育学会年次大会の招待講演において「学びの共同体」の学校改革における「協同的学び」の理論に関する教育学的検討を行った。

（2）平成29年度の活動と成果

平成29年度においては、各国で継続的に開催されている「学びの共同体の学校改革研究」を支援しつつ国際連携の構築を推進し、「第5回学びの共同体国際会議」を企画し韓国において開催した。この国際会議では、「真正の学び(authentic learning)を実現する協同的学び(collaborative learning)

「専門家の学び共同体(professional learning community)の形成」「教育の質と平等の同時追求を遂行する学校政策」「分権改革における学校の自律性の構築」の4つのキーワードを中心に研究と実践の交流を行った。

そのほか、日本教育学会の年次大会において、本研究の成果の中間報告を行い、年間を通し前年度までと同様、中国、韓国、台湾、インドネシア、ベトナム、タイの各国の「学びの共同体研究所」および香港とシンガポールの連携大学においてワークショップを開催した。

（3）平成30年度の活動と成果

最終年度の平成30年度は、本研究の総括と研究成果の公表を中心に活動した。前半期は、各国の「学びの共同体」の学校改革の研究と実践のデータベースの充実、研究者間と教師間の「学びの共同体アジア・ネットワーク」の確立、および補足調査を行い、後半期には、総括的なシンポジウム「第6回学びの共同体国際会議」（開催地は中国福建師範大学）を開催した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 4件)

佐藤学「体育における身体技法の学びとそのデザイン」(岡野昇・佐藤学編著『小学校体育・12か月の学びのデザイン』大修館書店 2019年3月 pp.1-8.)(査読なし)

Manabu Sato; Spread and Progress of School as Learning Community in Asia. Tsukui, A, and Murase, A. eds, *Lesson Study and School as Learning Communities: Asian School Reform in Theory and Practice*. London and New York/Routledge, 2018, pp.3-13. (査読あり)

佐藤学「ローリス・マラグッツィの思想の歴史的意味」(『発達』156号 ミネルヴァ書房 2018年10月 pp.8-13. (査読なし))

佐藤学「従世界的課堂改革思考臺灣的改革現状 以學習共同體為中心」(国家教育研究院『教科書研究』第十一卷第三期 2018年8月 pp.91-107. (査読あり))

〔学会発表〕(計 16件)

Manabu Sato, School as Learning Community: Global Dissemination and Progress. Public Lecture, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand, February 23, 2019. (招待基調講演)

Manabu Sato, School as Learning Community in Asian Countries: Dissemination and Progress. Speech at Plenary Symposium, World Association of Lesson Studies, Beijing Normal University, November 23, 2018. (招待講演)

Manabu Sato, Quality and Equality of Learning in School as Learning Community. Keynote Speech, The 6th International Conference of School as Learning Community, Fujian Normal University, Fuzhou, China, November 17, 2018. (招待基調講演)

Manabu Sato, Equality and Equity in School as Learning Community: A Case Study, Invited Keynote Speech, The 9th International Conference of Lesson Study, Indonesian Association of Lesson Study, Universitas Pakuan, Bogor, Indonesia, October 11, 2018. (招待基調講演)

Manabu Sato, School as Learning Community as an Alternative Model for School Reform in

Japan and Asian Countries. Invited Keynote Speech, Mexico-Japan Symposium of Educational Innovation, El Colegio de Mexico, September 27, 2018. (招待基調講演)

Manabu Sato, Educational Change in Japan 2008-2018 and Its Backdrops: Current Features of Neo-liberalism and Neo-conservatism, Invited Keynote Speech, Mexico-Japan Symposium of Educational Innovation, El Colegio de Mexico, September 27, 2018. (招待基調講演)

Manabu Sato, The Two Japanese Models: From the "East Asian Model" to "School as Learning Community Model" under Globalization. Invited Speech, World Education Research Association World Congress, Cape Town, South Africa, August 4, 2018. (招待講演)

佐藤学「教育研究におけるデータ基盤の必要性」講演 日本学術振興会・人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム「データ基盤の整備による人文学・社会科学の振興」一橋講堂 2018年7月1日 (招待講演)

佐藤学「21世紀型学校教育的創造 社会变化中的教学改革」山東教育学会・山東省教育發展研究中心 2018年4月6日 (招待基調講演)

佐藤学「学校建築 日本と台湾の比較」基調講演 学校建築国際会議 (International Symposium and Case Exhibits on Campus Aesthetic and Environmental Education) 台湾 2018年3月12日 (招待講演)

Manabu Sato, School as Learning Community in Asia. Annual Meeting of World Association of Lesson Study. Invited Speech at Plenary Symposium, Nagoya University. November 24, 2017. (招待講演)

Manabu Sato, The Impact of Impact: Current Situation of Humanities and Social Sciences in Japan. DFG Symposium: Invited Speech, Humanities and Social Sciences in Germany and Japan, German Culture Center in Tokyo, November 14, 2017. (招待講演)

Manabu Sato, Democratizing Schools as Learning Community in Asian Context. Keynote Speech, The Fifth International Conference of School as Learning Community. Geyongsangnam-do, Korea, October 21, 2017 (基調講演)

Manabu Sato, Learning to Teach in Professional Learning Community: Enhancing the Cycle of Design, Practice and Reflection, The Third Conference of Teacher Education Summit, Beijing Normal University, China, October 16, 2017. (招待基調講演)

Manabu Sato, Lesson Study in School as Learning Community: Backdrops and Forefronts. Invited Speech, The 8th International Conference on Lesson Study, Indonesian Association of Lesson Studies. September 14, 2017. Lombok, Indonesia. (招待基調講演)

Manabu Sato, The Two Japanese Models: From "East Asian Model" to "School as Learning Community Model" under Globalization. 日本比較教育学会第53回大会公開国際シンポジウム「教育モデルが国境を越える時代を俯瞰する」招待講演 東京大学安田講堂 2017年6月24日 (招待基調講演)

〔図書〕(計 7件)

Manabu Sato 토 마나부 저, 신지원 역: 학교를 철학하다-사토 마나부의 학교개혁의 철학-, 에듀니(『学校を哲学する－佐藤学の学校改革の哲学－』 申智媛訳、韓国ソウル: Eduniety) 2019年3月 311P.

佐藤学『学びの共同体の挑戦 改革の現在』小学館 2018年8月 303p.

Manabu Sato, *El desafío de la escuela, Crear una comunidad para el aprendizaje*, Traductora: Virginia Meza H. El Colegio de Mexico Publisher, Mexico, March 2018. 274p.

Manabu Sato 사토마나부 저, 손우정 역 (2018) 교사교육 개혁의 그랜드 디자인, 에듀니티 (佐藤学著、孫于正訳 『教師教育のグランドデザイン』) Eduniety 韓国 January 2018, 246p.

佐藤学『邁向專家之路教師教育改革的藍圖』(黃郁倫訳) 高等教育出版 台湾 2017年1月 164p.

佐藤学『教師花伝書 專家型教師的成長』(陳靜靜・鍾啓泉訳) 華東師範大學出版會 中華人民共和國 2016年9月 149p.

佐藤学『学校を改革する 学びの共同体の構想と実践』(タイ語版) PICO Thailand, October 2016, 95p.

〔その他〕

ホームページ: [International Platform for School as Learning Community \(school-ic.com\)](http://International Platform for School as Learning Community (school-ic.com))

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。